## 高梁川十ッズ流域十ッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

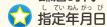
指定文化財(史跡)



\* **笠岡市甲弩** 



・鎌倉時代



· 史跡: 田和35(1960) 年 12月26日 建造物(県指定重要文化財): 平成13(2001) 年 3月23日

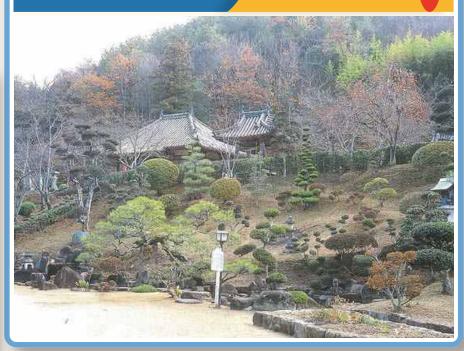
が有

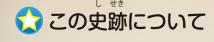
・神護寺

まがおさんじんごじ 長尾山神護寺

新高総早倉矢井浅里 見梁社島敷掛原口庄 市市市町市町市市町

笠岡市





いてういんじんでした しんでんしゅうだいがく じゅ でく ぎょうき ぼ さっ ひら つた マル マル では でき 来迎院神護寺は、真言宗大覚寺派に属し、行基菩薩が開いたと伝えられています。もとは「神宮 じゅくう じゅん ぐう じゅん だいぼう ちゅうぼう はん にゃぼう しょうえん ぼう じょうがく ぼう じょうがく ぼう きょうがく ぼう じょうがく ぼう じょうがく ぼう きょうがく でき きょうと呼ばれていました。神宮寺は、大坊・中坊・般若坊・正円坊・長福坊・上学坊の六つの坊をも しょう なっちにち しんで じゅって こんにち じんで じっした。長尾山には大坊だけが残り、今日の神護寺となりました。

現在、神護寺の境内は庭園として美しく整えられています。また、本堂は永禄11(1568)年に小 たたかきませれた笠岡市内で最も古い木造建築物で、岡山県重要文化財に指定されています。